


令和3年度 基本評価調書①			所管部局	農政部	所管課	食品政策課	
施策名	高付加価値農業の推進				施策コード	06012	
政策体系(中項目)	農林水産業の持続的な成長				政策体系コード	2(1)A	
知事公約	C0038 C0134	C0110	C0109	総合戦略	A 3123 A 3221 A 3222	国土強靱化	B 4221
SDGs					総合判定	やや遅れている	
						事務事業数	9

【1 Plan】

施策目標	地域資源を活かした6次産業化や環境と調和した持続可能な生産活動を展開にむけたクリーン農業や有機農業の取組など、国内外の食市場を取り込む付加価値の高い農業の推進に取り組む					
現状と課題	持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、環境に配慮した農業生産が求められている。また、農業経営をとりまく環境が厳しさを増す中、農業・農村の所得の確保や雇用の安定に向けて、6次産業化などの地域の食資源の活用、農林水産物・加工食品の販路拡大への関心が高まっている。					
主な取組	相談・支援体制の整備など6次産業化の取組を支援する。また、クリーン農業の推進に向けて、指導チームを設置、現地実証ほの設置、施肥ガイドの作成・配布などを実施するとともに、有機農業の普及及び販路拡大の推進に向けて普及指導員による技術支援、有機農業への「転換の手引き」の作成・配布などを実施					
予算額(千円)	R 3	2,191,533千円	R 2	2,516,946千円	R 1	1,816,331千円
施策のイメージ						

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名②	増加	億円	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
6次産業化の取組 (年間販売金額)	目標値		—	2,232	2,259	2,370	95.5%	B
	実績値		2,205	2,189	2,157			

設定理由 6次産業化の取組による年間販売金額。地方創生総合戦略に基づき、6次産業化を推進する取組の進捗状況を測る指標として設定。

分析（主な取組と成果）

「北海道6次産業化サポートセンター」の設置・運営、各種相談窓口等、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善を支援。前年より販売額が微減したものの、概ね計画どおりに推移した。

指標名③	増加	億円	H29年	H30年	R元年	最終目標(R6)	達成率	指標判定
道産食品輸出額（暦年）	目標値		1,500	1,500	1,500	1,500	69.6%	D
	実績値		1,014	1,182	1,043			

設定理由 道内港を通じ海外へ輸出された道産食品の通関額及び道外港を通じ輸出された道産食品の通関額の推計値を、経済部と共有する指標として設定。

分析（主な取組と成果）

農畜産物、農畜産物の加工品の輸出額は増加したものの、ホタテガイが噴火湾での減産と輸出単価の低下により減少したほか、菓子類が大手企業の生産拠点が道外へ集約されたことにより減少したことから、未達成となった。

指標名③			H29年	H30年	R元年	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							

設定理由

分析（主な取組と成果）

令和3年度 基本評価調書②	施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06012
---------------	-----	------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
成果指標	6次産業化の取組□年間販売金額)	2,205	2,189	2,157	2,259	B
	道産食品輸出額(暦年)	1,014	1,182	1,043	1,500	D
目標(指標)の達成状況	6次産業化の年間販売額の目標2,370億円に対し2,157億円と、約95.5%の達成状況となっている。また、農畜産物、農畜産加工品の輸出額は、平成30年の72.5億円が令和元年度に92.0億円と増加している。				指標総合判定	C
連携状況	6次産業化の推進を図るため「北海道6次産業化・地産地消推進協議会」を開催し、関係者との連携強化を図っている。また、クリーン農業の推進のため「道総研農業研究本部」、「北海道クリーン農業推進協議会」等と連携した取組や支援を実施。				連携判定	○
緊急性優先性	6次産業化に取り組む生産者への支援体制の整備や制度の拡充、必要な予算の確保などを国へ要望。また、クリーン農業や有機農業の取組拡大に向けた支援の拡充等を国へ要望。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	6次産業化の年間販売金額は、微減しているものの同程度の販売額を確保しているため、引き続き生産者等に対するサポートなど目標達成に向けて、各般の施策を迅速かつ着実に進めることが必要。				総合判定(一次評価)	やや遅れている

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	道産農畜産物の輸出を拡大するため、北海道ブランドを維持し、戦略的に活用するための情報発信や、海外に営業拠点を持つ民間事業者と連携したプロモーション活動及びECサイトを活用した販売支援を行う取組を強化していく。
②	「北海道6次産業化サポートセンター」の設置・運営、各種相談窓口等、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善の支援に取り組む。	
③	「北海道クリーン農業推進協議会」等と引き続き連携し、クリーン農業・有機農業などの環境保全型農業の理解促進とさらなる取組の拡大を進めていく。	

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、施策の目標達成に向け事業内容を精査すること	対応状況(R3.3時点)	感染症対策の徹底やオンライン開催による対応を検討するなど、関係者との連携や生産者等のレベルアップに必要な会議・研修会等を円滑に開催することで着実に推進する。
R3年度二次政策評価	道産農畜産物の輸出を拡大するため、北海道ブランドを維持し、戦略的に活用するための情報発信や、海外に営業拠点を持つ民間事業者と連携したプロモーション活動及びECサイトを活用した販売支援を行うことは重要であり、取組の一層の推進を検討すること。 また、食の輸出拡大戦略推進本部により連携し、道産食品の国際競争力強化の取組の一層の推進を検討すること。 国内外の食市場を取り込む付加価値の高い農業の推進を図るため、地域資源を活かした6次産業化や環境と調和した持続可能な生産活動の展開に向けたクリーン農業や有機農業の取組の一層の推進を検討すること。		

【3 Action】

二次政策評価への対応	輸出拡大の推進のため、商談会や販売会を通して、販路開拓に取り組むことにより取引実績の増加につなげていくとともに、経済部や水産林務部と連携しながら、事業内容を広く周知し、認知度の向上を図る。 また、6次産業化の取組(年間販売金額)については、概ね計画どおりであることから、引き続き、「北海道6次産業化サポートセンター」の機能を活かし、6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善に向けて支援するとともに、クリーン農業や有機農業に対する消費者の理解醸成と消費拡大を図るため、体験型交流会や農産物販売会の開催、生産者向けネット販売講座を開催し、販路拡大と適正価格での販売を支援する。
R4施策の方向性	・新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、商談会や販売会を通して、更なる販路開拓につなげるとともに、経済部や水産林務部と連携しながら事業効果を高める取組を進める。 ・6次産業化に取り組む農林漁業者等の経営改善を支援を一層推進するため、「北海道6次産業化サポートセンター」において各種相談の窓口対応を担う企画推進員の役割について、必要に応じた現地指導を拡充させるなど、事業効果を高める取組を進める。 ・体験型交流会や農産物販売会の開催により、クリーン農業や有機農業に対する消費者の理解醸成と消費拡大を図るとともに、生産者向けネット販売講座を開催し、販路拡大と適正価格での販売を支援する。

令和3年度 補助指標調書①	施策名	高付加価値農業の推進	施策コード	06012
---------------	-----	------------	-------	-------

【成果指標の達成状況】

補助指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
食料自給率（カロリーベース （再掲））		目標値	—	—	214	238		
		実績値	—	—				
設定理由	北海道総合計画における政策の方向性「潜在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり」の観点から指標として設定。（最終目標は総合計画見直し後の値）							
分析（主な取組と成果）								

補助指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名④			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

補助指標名⑤			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
		目標値						
		実績値						
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

